わたしの健康とくすり

第345号

今月の内容

- 疾患シリーズ　《連載・通算第 10 回目》抗菌薬の種類と作用
- ちょっとお耳を……　カルシウムの摂り方のコツ
- おくすり Q & A　R6.10 月から開始した「長期収載品の選定療養」について

2024 年 10 月発行

発行者　八王子薬剤センター　橘 隆二
東京都八王子市館町 1097　電話 042-666-0931

協　力　八王子薬剤師会

おくすり Q&A
R6.10 月から開始した「長期収載品の選定療養」について

10 月に入り、長期収載品（後発医薬品のある先発医薬品）を患者さんの希望で使用する際に、選定療養分として新たに患者さんの自己負担額が発生する仕組みが導入されました。前回 9 月のときにも触れましたが、今回はもう少し詳しく見ていきましょう。

Q. 選定療養の対象とならない場合はどんなときですか？

A. ❶ 薬局の在庫がなく、後発品医薬品の供給が困難な場合。現在も医薬品の供給が不安定で薬によっては後発医薬品が準備できないことがあります。そのときは選定療養の対象とはなりません。

❷ 医療上の必要性がある場合。**後発医薬品が何となく嫌だから、使用感があまりよくないからなどの理由で長期収載品を希望する場合は選定療養の対象となります。**

Q. 医療上の必要性って具体的に何ですか？

A. ⅰ）効能効果に差異がある場合。
ⅱ）副作用等で安全性の観点から変更が必要な場合。
ⅲ）治療上、後発医薬品への切り替えが推奨されない場合。
ⅳ）後発医薬品の切り替えにより剤型が変わり飲みにくくなったり、一包化するときに吸湿等の関係で一包化出来ない場合。
※ⅰ～ⅳは医師もしくは薬剤師の判断が必要となります。

Q. 生活保護を受けているのですが選定療養の対象になりますか？

A. 後発医薬品による調剤が原則なので対象外となります。ただし、今まで医療上の必要性がないのに長期収載品でもらっていた場合（使用感が悪い、後発品に抵抗がある等で先発品希望）、後発医薬品でのお渡しになります。

Q. 医療保険に加入していて公費を利用している場合、選定療養の対象になりますか？

A. **選定療養は医療保険の規則になるので医療保険に加入していれば対象**となります。今まで会計がなかった方も R6.10 月以降に長期収載品を希望する場合、会計が発生することがあるので注意が必要です。

Q. 長期収載品が処方された場合、患者希望かどうかはどのように判断しますか？

A. R6.10 月以降は処方箋の形式が変更となります。今まで後発医薬品への変更不可欄だった所が「変更不可」「患者希望」の 2 つに分かれることにより判断できるようになります。

まだ開始したばかりの制度になりますのでご不明点があれば近くの医療機関にご相談ください。

執筆薬剤師　鈴木 瑞章

疾患シリーズ《連載・通算第 10 回目》

抗菌薬の種類と作用

前回は抗菌薬の歴史について紹介しましたが、今回は抗菌薬の種類と作用について紹介します。抗菌薬は、❶細胞壁合成阻害薬、❷細胞膜障害薬、❸タンパク質合成阻害薬、❹核酸（DNA や RNA）合成阻害薬、❺葉酸合成阻害薬、の大きく分けて 5 種類に分類されます（図 1）。抗菌薬は、細菌細胞の作用部位に到達しないと効果を発揮することができません。外膜は抗菌薬にとって大きな障壁となるため、大腸菌や緑膿菌などのグラム陰性菌には効果が低い抗菌薬もあります。外来でよく処方される経口抗菌薬を紹介します（❷は病院でしか処方されないため除外）。

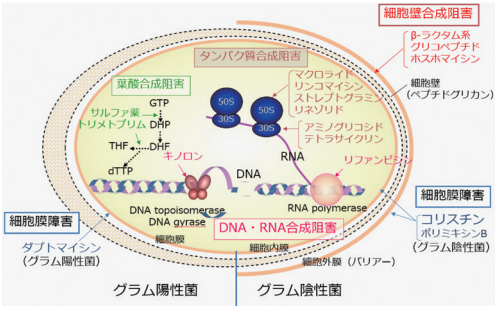

図 1　抗菌薬の作用点

❶ 細胞壁合成阻害薬

- ▸ β - ラクタム系［ペニシリン系］（アモキシシリン）
  適応症　咽頭炎・扁桃炎、肺炎、伝染性膿痂疹（とびひ）、中耳炎、副鼻腔炎、梅毒など
- ▸ β - ラクタム系［セフェム系］（セファレキシン、セファクロル、セフジニル、セフジトレン、セフカペン）
  適応症　咽頭炎・扁桃炎、肺炎、伝染性膿痂疹（とびひ）、中耳炎など
- ▸ ホスホマイシン
  適応症　咽頭炎・扁桃炎、肺炎、膀胱炎、中耳炎、副鼻腔炎など

❸ タンパク質合成阻害薬

- ▸ マクロライド系（ロキシスロマイシン、クラリスロマイシン、アジスロマイシン）
  適応症　咽頭炎・扁桃炎、肺炎、伝染性膿痂疹（とびひ）、中耳炎、副鼻腔炎、性器クラミジア感染症など
- ▸ テトラサイクリン系（ドキシサイクリン、ミノサイクリン）
  適応症　咽頭炎・扁桃炎、肺炎、伝染性膿痂疹（とびひ）、中耳炎、副鼻腔炎、性器クラミジア感染症、梅毒など

❹ 核酸合成阻害薬

- ▸ ニューキノロン系（レボフロキサシン、トスフロキサシン、ガレノキサシン、シタフロキサシン、ラスクフロキサシン）
  適応症　咽頭炎・扁桃炎、肺炎、伝染性膿痂疹（とびひ）、中耳炎、副鼻腔炎、性器クラミジア感染症など

❺ 葉酸合成阻害薬

- ▸ ST 合剤（スルファメトキサゾール・トリメトプリム）
  適応症　肺炎、膀胱炎など

次回は薬剤耐性について紹介します。

東京薬科大学　薬学部　臨床微生物学教室　教授　中南 秀将

ちょっとお耳を……　カルシウムの摂り方のコツ

骨粗鬆症の予防のために、カルシウムを摂っている方も多いと思います。カルシウムを摂るだけでも予防にはなるのですが、それだけでは不十分です。なぜなら、カルシウムの吸収を助ける栄養素と吸収を邪魔してしまう栄養素があるからです。今回は、その栄養素について紹介しますのでこれからは意識してみてください。

カルシウムの吸収を助ける栄養素

●ビタミン D

ビタミン D は人の体の中で、血液中のカルシウム濃度を一定に保ち、食べ物からのカルシウムの吸収を助け、骨や歯の健康を保っています。ビタミン D は、日光浴をすることで人の体の中でも作られますが、ほとんどは食べ物から摂る必要があります。ビタミン D は、鮭やサバなどの魚に多く含まれています。

●ビタミン K

ビタミン K は人の体の中では、骨へのカルシウムの取り込みを助ける働きをしています。そのため、骨を作り壊さないようにしています。このビタミン K は、納豆やブロッコリーなどに多く含まれています。

重要！　しかし、血を固める働きも持つため、血液をサラサラにするお薬を飲んでいる方は注意が必要な場合があります。ご不明点がありましたら、医師、薬剤師にご相談ください。

カルシウムの吸収を邪魔してしまう栄養素

●リン酸

リン酸は、人にとって大切な栄養素の一つです。細胞や DNA を作っており、人がエネルギーを作り出すときにも必要です。リン酸を多く含む食品は、玄米や加工食品、スナック菓子などです。このリン酸は、カルシウムと結びつくことでカルシウムの吸収を妨げてしまいます。

●シュウ酸

シュウ酸は、人の体の中ではビタミン C などが分解されて出てくる老廃物です。シュウ酸を多く含む食品は、ほうれん草をはじめとするパセリやセロリといった緑葉野菜、紅茶、コーヒーなどです。シュウ酸もリン酸と同様にカルシウムと結びつきカルシウムの吸収を妨げてしまいます。

まとめ　すべて体に必要な栄養素ですので、カルシウムを効率よく吸収するために、それを助ける栄養素を含む食品は一緒に摂り、逆に吸収を妨げる栄養素を含む食品は、タイミングをずらして摂取するように工夫しましょう。

執筆：実務実習生　森田 弦暉　（監修薬剤師：加藤 哲教）